

2名の地域おこし協力隊員

令和3年度より、本町初の地域おこし協力隊として活動いただきました江藤幸乃さん、お二人ともそれぞれの進路において引き続き町内で活躍されています。これからも



江藤 幸乃 さん

（主な活動内容）

- ・学校や町のイベントにおいて「エコ縁日」や木を使ったワークショップなどの環境教育プログラムを企画・実施。
- ・ホップを活用したグリーンカーテンの設置や、地域でのエネルギーやまちづくりに関する勉強会の運営支援による省エネの普及啓発。
- ・再生可能エネルギーを軸としたまちづくりの一環として薪に着目し、買取と販売の実証実験を実施。

協力隊活動を振り返っていかがでしたか？

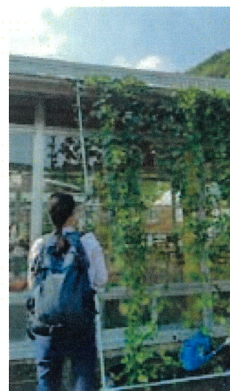
やるべきことを自分なりに考え、必死に取り組んできた2年半でした。お話を聞かせてもらったり、快くご協力くださったりと、見返りを求めず助けてくださった方もいらっしゃいました。あらためて感謝申し上げます。地域おこし協力隊としての仕事は、私が今まで経験したことのない業務内容であり、私の仕事を不満に思う方も多いかと思いますが、地域のことを考える、地域の未来を考えるきっかけになれていたら幸いです。

地域おこし協力隊として取り組んでこられたことを教えてください。

自然エネルギーを軸としたまちづくりの一環として、自然エネルギーの普及啓発活動や薪・薪ストーブ事業を実施しました。エネルギーの使い方を工夫し、無駄を減らして効率よく使うために、省エネに関する各種取組を行いました。また、能勢町立能勢ささゆり学園やイベント等で、エコ縁日や木育等の環境教育を行いました。取組内容にご関心をお持ちくださった方は、地域おこし協力隊の SNS や能勢・豊能まちづくりの HP・SNS 等を是非ご覧ください。

最後にメッセージをお願いします。

来年度からは連携団体である「株式会社能勢・豊能まちづくり」の社員として、能勢・豊能地域で仕事をします。これまでと変わらず、地域におじゃまし、みなさんにご協力いただきながら、省エネ推進や地域の課題解決プロジェクトに取り組んでいきます。みなさんと、地域のエネルギーやまちの未来について考えるワークショップ、「のせエネ」も継続して開催する予定です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



みな
ありがとうご

が卒隊されました

高江直哉さんが3年間の任期を終え退任されました。ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問合せ 総務課(☎734・3036)



高江 直哉 さん

（主な活動内容）

- ・能勢なつかしさ推進協議会と連携し、里山の資源を兼業・副業にできる「ワザ」を身につける「里山技塾」の企画・運営。
- ・町内の課題を企業や地域団体、里山技塾卒業生とマッチングすることで課題解決に向けた仕組み化を実施。
- ・町内での聞き取りなどを基に、町の歴史や暮らしを伝える紙芝居イベントを実施し、世代間の交流に取り組んだ。

協力隊活動を振り返っていかがでしたか？

能勢に来て、3年近くが経ちました。歴史・文化だけでなく課題を含め私が知っている能勢はほんの一部だと思っています。もっと知りたいこと、繋がりたい人がいて、3年間で本当短いし早いと感じています。ここに根を張って生きていくには、3年ではまだまだ根が浅いわけですね。果だって実るのに最低3年。ようやく実が成り始めたばかりの幼木ですので、これから深く根を張ってこの地で生きていけるよう精進してまいります。

地域おこし協力隊として取り組んでこられたことを教えてください。

地域おこし協力隊が多くいる自治体でなく、私と江藤さんが能勢町では最初の協力隊です。そんなこともあり、これまで私は「よろす屋」的な活動をして来ました。あるときは里山技塾の事務局、またあるときはイベントの主催者、はたまたあるときは農家…などなど書ききれないほどいろんな仕事を経験させていただきました。その分、町の皆さんと関わる機会は多かったように思います。田舎仕事をほぼやったこともなかった私を育ててくださった皆さんに本当に感謝です。

最後にメッセージをお願いします。

この春からは集落支援員として活動する予定ですので、「今までありがとうございました」ではなく、「引き続きよろしくお願いします」というのが、今の気持ちです。町内の人口が減り、今まで当たり前に来ていたことが少しずつ難しくなっています。行政だけでは解決できないことも増えてきています。

これからは「誰か」ではなく「自分」に何ができるかをみんなが考え、形にしていけることが必要だと感じています。私はこれからもそこに寄与したいと思っていますので、今後ともお力添えの程、よろしくお願いします。

さま
ざいました！

